

よどまち さーち

みんなで取り組むまちづくり



まちさ〜ち

- ◆人口:6,553人 ※平成26年9月末時点の統計値
- ◆面積:約0.60km² (田川地域の一部を含む)
- ◆主な施設:十三公園、社会福祉法人博愛社
社会福祉法人キリスト教ミッド社会館



▲安いねえ。どれにしようかしら



▲ごみ減量のためのキーワードは? リデュース、リユース、リサイクル



▲みんな揃って
1、2、3、4、...

便利で賑わいのあるまち

神津の地名は、明治時代に神崎川と中津川(現在は埋め立てられている)に挟まれた地域の村が合併した際、神崎川の「神」と中津川の「津」を組み合わせで命名されました。

現在の神津地域は阪急十三駅の西側に位置し、地域内には大小合わせて9つの商店街(十三西商店会連合を結成)があり、大変便利で賑わいのある地域となっています。

「捨てればごみ」の有効活用

神津地域では、盆踊り大会、敬老会、防災訓練、地域清掃活動をはじめ、様々な事業を各種団体が協力して実施していますが、それらに加えて、今年初めて

5月に「神津地域ガレージセール」を開催しました。

不要になったカバンや洋服、押し入れに仕舞いこんだままのタオルや小物、店じまいした商品の品物などを持ち寄って、必要とする人に安価で提供しました。

ごみゼロリーダーが活躍

各町会に1名、廃棄物減量等推進員(愛称:ごみゼロリーダー)が大阪市から委嘱されていますが、神津では全町会の女性部長が推進員になっています。

今回のガレージセールは神津地域活動協議会と神津廃棄物減量推進委員会の共催で行われ、ごみ減量の啓発も兼ねていました。

区レベルでのガレージセールはこれまでも行われていますが、地域が主体となって開催するのは前例がないとのこと。買いに来てくださった方に変大好評

だったので、秋頃にも第2弾の開催が決まりそうです。

百歳体操もスタート

5月末から、高齢者の転倒や寝たきり予防のための「いきいき百歳体操」も神津福祉会館でスタートしました。新しい取り組みにも意欲的に挑戦しています。

【神津地域活動協議会】

事務所:神津福祉会館
住所:淀川区十三元 今里2-2-45
☎6390-1550

尾崎豊美会長から

住民同士が活発に交流して絆を深め、安全・安心なまち、子どもから高齢者まで明るく健康に暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。みなさんの協力を期待しています。



それいけ、まさふみ!

淀川区長 **榎 正文**

なぜ子育て・教育が大事なのか。それは未来の大阪・日本を支える人間を育てるため。

巻頭特集で「病児保育」について触れましたが、淀川区では、子育て支援とともに、教育支援にも特に力を入れています。なぜかという、淀川区の子どもに、将来社会で自立して、未来を切りひらき、大阪・日本を支える人間に育ててもらいたいからです。もちろん、学校の勉強だけが出来ても社会では通用しませんが、自分の頭で考え、たくましく生きていく力をつけるのは、やはり教育だと思います。

今よりもっと充実した教育環境をつくることをめざし、家庭の経済格差を学力の格差、学ぶ機会の格差にしてはならないと考え、教育支援策に取り組んできました。先生方や保護者・地域の皆さまにおかれては、区の施策を通じて子ども達の成長や学びを導いてくだされば幸いです。

淀川区を活気あるまちにしようと思えば、若い世代や子どもの存在は欠かせません。小さなお子さんを抱えたご家庭が、ここで

子育てしたい、住み続けたい、と思える環境をつくる。一度巣立っていった息子さんや娘さんが、子ども達とともに、おじいちゃん、おばあちゃんの近くに住む。こういうことが、まちの活性化につながります。

子ども達がいきいきと過ごせるまちにして、淀川区を大阪市で一番にしたいと思います。「淀川区が一番や!」誇りを持ってそう言ってくれる子ども達を、区民の皆さまと共に育てたいと思います。その子ども達がやがて、大阪の、日本の未来をつくっていくことでしょう。区役所は、微力ではありますが、行政の立場からその役割を全力で果たしていきたいと考えています。



▲第1回淀川区区政会議にて。